



IPFM を使用したマルチキャストサービスリフレクションの設定

この章では、Cisco の IPFM を使用したマルチキャストサービスリフレクションに Cisco Nexus 9000 シリーズスイッチを設定する方法について説明します。

- [IPFM を使用したマルチキャストサービスリフレクション \(1 ページ\)](#)

IPFM を使用したマルチキャストサービスリフレクション

IPFM を使用したマルチキャストサービスリフレクション機能は、外部で受信したマルチキャスト宛先アドレスを組織の内部アドレッシングポリシーに準拠したアドレスに変換できます。これは、入力マルチキャストストリーム(S1、G1)から出力(S2、G2)インターフェイスへのマルチキャストネットワークアドレス変換(NAT)です。この機能は、一般にマルチキャストサービスリフレクション機能(SR 機能)と呼ばれます。送信元 IP アドレスのみを変換する IP マルチキャストネットワークアドレス変換(NAT)とは異なり、マルチキャストサービスリフレクションは送信元と宛先アドレスの両方を返還します。

S1、G1 として着信するフローは S2、G2 に変換され、宛先 MAC アドレスは G2 のマルチキャスト MAC アドレスに書き換えられます。

S1、G1 フローは S2、G2 に変換され、宛先 MAC アドレスは書き換えられず、グループ G1 に対応したままになります。

マルチキャストサービスリフレクション機能に関する詳細とコマンドについては、『[Cisco Nexus 9000 シリーズ NX-OS マルチキャストルーティング設定ガイド](#)』を参照してください。



(注) 必要な帯域幅が利用できないなど、トラフィックフローをサポートできないと IPFM が判断した場合、トラフィックフローは停止し、IPFM が要求された変換をサポートできないことを示すアラートが発行されます。

IPFM を使用したマルチキャスト サービス リフレクション

(注) IPFM を使用したマルチキャスト サービス リフレクションは、Cisco Nexus 9316D-GX、Cisco Nexus 9364C-GX、Cisco Nexus 93600CD-GX、および Cisco Nexus 93180YC-FX3S スイッチ(Cisco Nexus NX-OS 9.3(5) 以降のリリース)でサポートされています。



(注) Cisco Nexus リリース 10.1(1) 以降、IPFM を使用したマルチキャスト サービス リフレクションは、Cisco Nexus 9300-FX3、Cisco Nexus C9316D-GX、Cisco Nexus C93600CD-GX、および Cisco Nexus C9364C-GX プラットフォーム スイッチでサポートされます。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。